

子宮頸がんには 予防する方法が あります。

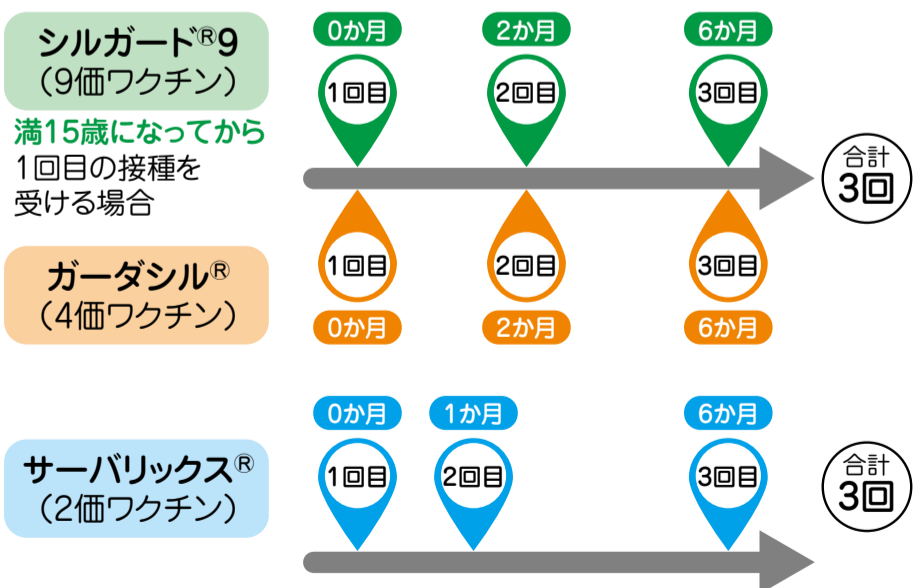
定期接種の対象
小学校6年生～
高校1年生相当の女子

キャッチアップ接種の対象
(定期接種の機会を逃した方)
1997年度～
2006年度生まれの女子

9価ワクチンが 接種可能になりました

14歳以下の方は、9価ワクチンの2回で接種が完了します。

一般的な接種スケジュール

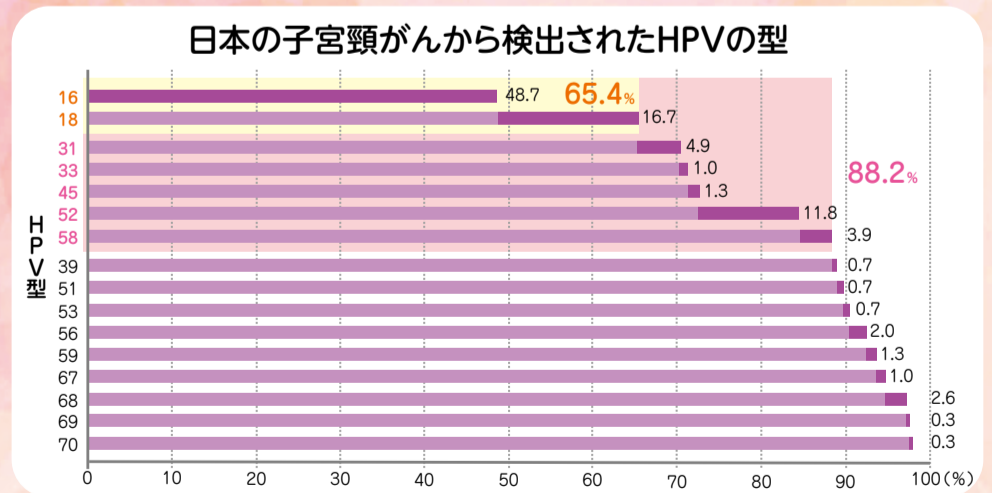
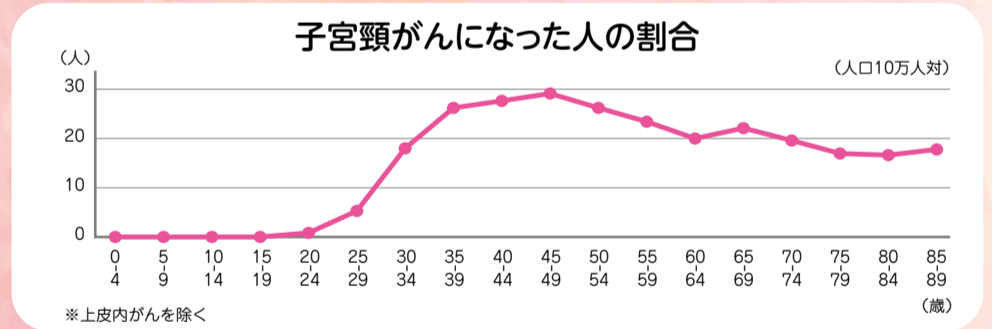


いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。

キャッチアップ接種の 助成期限は2025年3月です

30歳頃から子宮頸がんになる人は急増します。
治療に伴って、将来の妊娠をあきらめなくてはならないことがあります。

日本では毎年、約11,000人の女性が新たに子宮頸がんを患い、残念ながら、約2,900人が命を落としています。特に20～30代女性のがんの発症率では、子宮頸がん(上皮内がん含む)は第1位となっています。



HPVには100種類以上の型があります。子宮頸がんから検出されるHPV型のうち、2価/4価ワクチンは60-70%を、9価ワクチンは約90%をカバーします。子宮頸がんの予防には定期的な子宮頸がん検診も重要です。

副反応が疑われた場合には、まず接種医療機関にご相談ください。

